

令和6年

ホタテガイ浮遊幼生調査結果（No.2）

宗谷地区水産技術普及指導所枝幸支所

2回目（4月23日）の調査結果をお知らせします。

■浮遊幼生の出現状況

ホタテガイのラーバは、140～180μmの小型サイズが僅かに（3.9個/ト）みられましたが、他地区で見られている200μm以上の大型サイズは、まだ出現していませんでした。

その他2枚貝は前回調査より減少し14.1個/トでした。

■水温（乙忠部水深25m[中]地点の水深10m）

5. 4℃

※前回調査より0.8℃低くなり、平成11年～令和5年までの平均水温[6.1℃]より0.7℃低い値でした。

■透明度

沖 3. 0m、中 4. 0m、陸 4. 0m

※雪解けによる川水の影響があり、まだ濁りがひどい状況です。

■今後の予定

次回の調査は4月30日に予定しています。

浮遊幼生出現状況 乙忠部沖（水深20・25・30m定点）

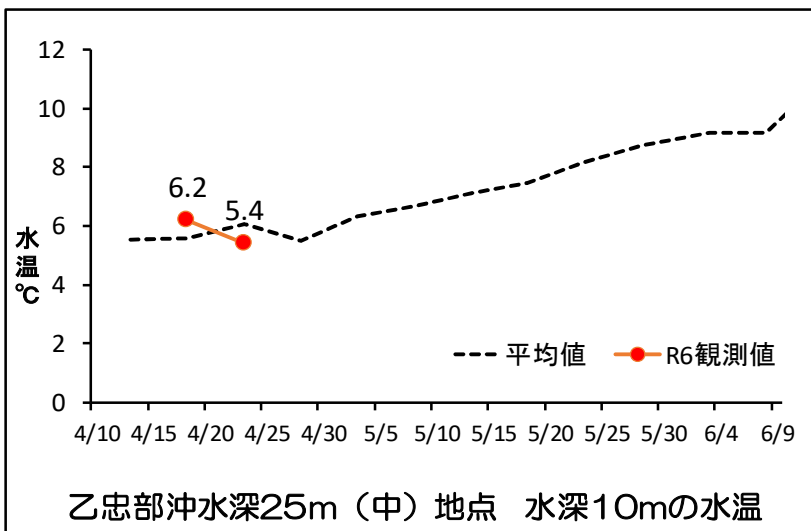
（口径22cm垂直曳き）

月 日 殻長μ	4月16日				4月23日											
	20m	25m	30m	平均	20m	25m	30m	平均	20m	25m	30m	平均	20m	25m	30m	平均
小型 幼生	140				3.9			1.3								
	150				5.3			1.8								
	160				1.3			0.4								
	170															
	180					1.1		0.4								
	190															
大型 幼生	200															
	210															
	220															
	230															
	240															
付着 サイズ	250															
	260															
	270															
	280															
	290															
	300															
ホタテガイ 計	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	1.1	0.0	3.9								
その他二枚貝	96.2	2.7	35.4	44.8	12.2	17.7	12.5	14.1								

* 数字は全て海水1トン当たりに換算した数値です。

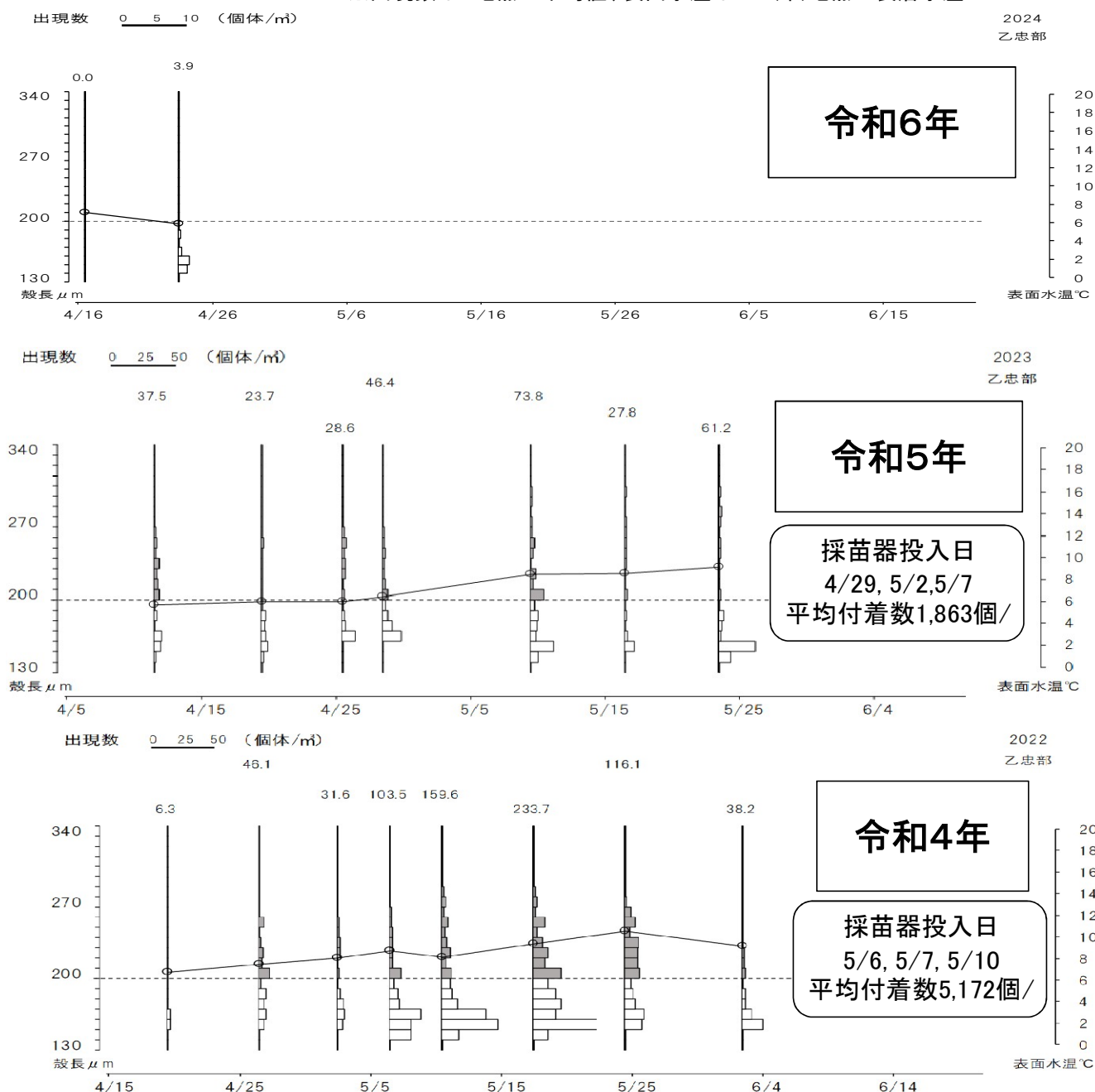
令和6年 水温(℃)

調査定点	4/16	4/23			
水深 20m (陸)	0m	9.9	5.9		
	5	6.5	5.4		
	10	6.3	5.0		
	15	6.2	5.0		
	20	6.2	4.8		
水深 25m (中)	0m	7.1	5.9		
	5	6.3	5.7		
	10	6.2	5.4		
	15	6.2	5.0		
	20	6.2	5.0		
水深 30m (沖)	25		5.1		
	0m	8.4	6.0		
	5	6.2	5.2		
	10	6.1	5.4		
	15	6.1	5.2		
	20	6.1	5.0		
	25	6.1	4.9		
	30	6.1	4.9		



●殻長組成の推移

※出現数は3地点の平均値、表面水温は25m(中)地点の表層水温



他地区の情報

浮遊幼生調査

4/18	厚田	23.7個/ト	サイズ130~210 μm
4/22	浜益	24.8個/ト	サイズ130~210 μm
4/22	苫前	20.2~27.6個/ト	サイズ130~240 μm
	羽幌	10.6~32.6個/ト	サイズ130~230 μm
	遠別	6.7~28.3個/ト	サイズ130~260 μm
4/22	小樽	2.7個/ト	サイズ140~240 μm